

令和6年6月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時	令和6年6月26日 (水)	午前10時00分 開会
		午前11時20分 閉会
2. 件 名	河南町教育委員会定例会	
3. 開催場所	河南町役場 庁舎4階 大会議室南	
4. 出席委員	教 育 長	中川 修
	教育長職務代理者	西川 幹雄
	委 員	藤原 充
	委 員	高井 美恵子
	委 員	杉田 みはる
5. 事務局職員	教・育部長	谷 道広
	教・育部副理事兼指導主事	柏木 俊介
	教育課長	藤井 康裕
	こども1ばん課長	山田 恵
	生涯まなぶ課長	森 弘樹
	給食センター所長	浅井 明郎

(審議内容)

教育長	<p>6月の定例会ということで、この時期の雨は、降る時には一気に、短時間に、大量に降ります。</p> <p>例えば、道路を見ていてもすぐに水があふれてくるような状況で、6月は危機管理の時期だからといって気をつけていても、その時になってみないとわからない部分もあります。</p> <p>常に安全を意識するという教育の部分、或いは学校教育だけじゃなくて家庭教育も含めて、雨が降った時の基本的な行動であるとか気つけないといけないということは、今に始まった話ではないのですが、繰り返しやっていくことで、子ども達が最終的には自分でやらないといけない、常に大人がやってくれるわけじゃないということを考えることができます。</p> <p>学校は、今週合わせて4週間ですが、個人懇談とか、テストとかもあるだろうし、そう考えるとそんなに日数がないとは思うのですが、大事な1日であることは間違いないので、学校ともこの間、校長会・教頭会を通して、危機管理含め1日1日大事にしましょうという共有をしているところです。</p> <p>皆さんご存じかもしれませんが、国会の中で、日本版D B Sという子どもに関わる非常に大切な法案も通りましたので、そういうことをしっかりと採用段階から確認していくことも大事だろうし、今の既存のメンバーに対してもどういう形でということも話し合われたりしていますが、我々は子どもと関わる仕事ですので、子どもの安全、安心をどう担保するのかという部分では、非常に大事な法案だと思っています。</p> <p>本日も忌憚のないご意見いただきながら、有意義な会になればと思ってます</p>
-----	--

	<p>ので、どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>それでは令和6年6月の教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>まず初めに、本日の定例会の傍聴につきまして、その申し出はございませんことをご報告いたします。次に本日の出席者は5名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、藤原委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
全員全員	ー異議なしー
教育長	<p>ご異議がないようですので、会議録署名委員は藤原委員に決定いたしました。</p> <p>それでは議事を進めさせていただきますが、本日は議案がありませんので、「第2.諸報告その他」へ進めさせていただきます。</p> <p>まず、「(1) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る教育評価員について」、事務局から説明お願ひします。</p>
事務局	「(1) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る教育評価員について」 資料に基づき説明
教育長	<p>この件について質問等ございませんか。</p> <p>ないようですので、次に、「(2) 河南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」、事務局から説明お願ひします。</p>
事務局	「(2) 河南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」 資料に基づき説明
教育長	<p>この件について何かご質問はございますか。配置基準が見直されたということです。</p> <p>ないようですので、次に、「(3) 令和6年6月定例会議一般質問要旨（教育委員会関係）について」、事務局から説明お願ひします。</p>
事務局	「(3) 令和6年6月定例会議一般質問要旨（教育委員会関係）について」 資料に基づき説明
教育長	このことについて何かありますか。
委員	各議員さんから多岐にわたる質疑をされているわけですけども、私が1つ意見を申し上げたいのは、福田議員の質疑用紙の3番目、子ども達への脱法ドラッグ対策を問うという質問についてです。

私は、河南町長の委嘱を受けて、脱法薬物乱用防止委員を5年間務めさせていただいた時期があります。

脱法ドラッグについて、私が今認識している一番生々しい状況というのを皆さんに情報を共有したいと思います。

非常に専門的な言葉も入りますけれども、大切な情報ですので、一部専門の脱法ドラッグの資料も読み取りながら、お時間いただきたいと思います。

薬物と言っても、その中身は多種多様で、若者が手を出すのは、1番は大麻なのです。その次に、脱法ドラッグと呼ばれている、皆さん多分名前は初めて聞かれると思いますが、LSD、MDMA、マジックマッシュルームなど、多岐にわたります。

薬物の一番のリスクは、若者を中心に、興味本位で扱ってしまうとさらに強い効果を求めるあまり、依存性に走ってしまう。ドラッグの一番危険なところは、一旦吸引してしまうと、より強い刺激をもらいたいために依存してしまうということです。依存してしまうと、昔のコマーシャルで、「人間やめますか、薬物やめますか」と、とテレビで出た時代があるのですよ。もう、この通りなのです。

ドラッグにはまって依存するようになってしまふと、何が起こるか。まずは体の問題として、臓器に一番大きな影響を与えます。心臓、次に肝臓です。次に精神的なものとして、幻覚、幻聴、それから、精神不安があらわれます。我々には見えないものが、彼らには映り出すのです。

保護所に行ったときに見ますと、震えているのです。看護人が行って、どうしたって聞いたら、もう部屋中に訳のわからない昆虫がいて襲ってくるとか、そういう表現をするのです。幻聴、幻覚が現れます。特に近年、乱用者が増加している大麻については、乱用者の4割は大麻に関する有害危険性を軽視する情報を、SNS等から得ており、インターネットが薬物乱用を始めるきっかけとなっている実態があります。

SNS等を利用した薬物密売の広告がどういうものか、ぜひ子ども達に教えてあげたいです。ネットを見ると、こういう書き込みがあります。「疲れが取れるよ、痩せられますよ、スリムになりますよ、元気が出ます、活力がわきます」等の誘い文句で乱用を煽る書き込みが、本当にここ最近急激に増加しています。SNSの普及が、薬物をより入手しやすい環境をつくり出している現状があり、犯罪者の手口を学ばせることが大切です。

ネットではこういう甘い誘い文句があるのですよ。「それには絶対からくりがあるから、のらないように」という具体的な啓発活動をしないと、「強い心を育てます」と言っても、正直言って弱いのです。

この薬物乱用で検挙される人は、年々多少の減少傾向にあるのですけども、一番問題点は、若年層の薬物乱用が増加傾向にあるのです。なぜ若者が大麻に走るかというと、1つのからくりがあります。今、私が申し上げた薬物の中で、大麻草というのは一番安価なのです。これも初めて、皆さんお聞きになると思いますけれども、金銭的に入手しやすい。じゃあどれぐらいか。乾燥大麻とい

うのは、末端価格で1グラム約6千円です。普通の覚せい剤なんかは、1グラムなんと、4～5万円するのです。X（旧ツイッター）で「野菜」と検索すると、この野菜というのは、何と大麻の隠語なのです。大麻の隠語なのです。これを検索すると、「ハッシュタグ野菜、ハッシュタグ配送します、ハッシュタグ高品質です」などの販売をあおる投稿が、たくさん出てきます。これに私たち保護者は気づかぬうちに子ども達が見ている可能性は十分あるのですよ。一旦手を染めてしまうと、なかなか抜けられない。だから、興味を持つ前に、こういうカラクリがある、やせてスリムになるなんてもうこれは真っ赤な嘘、これは薬物乱用の誘いの手だということを、もっと強い口調で啓発活動に取り組んでいただければありがたいというのが、私が5年間実務をした経験です。

以上です。

教育長 今、言っていただいたご自分の委嘱された5年間の経験も含めての情報提供、或いは共有だったと思います。何かこのことについて、ご意見ありますか。

委員 検挙されて、刑務所から出ても、ボランティア団体で社会に戻そうというような団体もあるのですけど、そこに入って活動しても、依存性が抜けないのでよ。だから再犯してしまうという方が非常に多いです。うん。だから、興味を持つ前にその芽を潰してしまうことは大切だと思います。

教育長 小中学校の保健の教科書にも、誘いに乗らないとか、例えば断るロールプレイを練習するという場面があったり、授業の工夫の中でも取り入れることは可能だと思ってますし、実際、小学校でタバコの誘いを断るとか、ロールプレイやってみるといったこともあるので、当然、学習指導要領に基づいた形でもやっているし、繰り返し大人が伝えていくことは、非常に大事なことだと感じます。他どうですか。よろしいですか。

次に、「(4) 第27回ふくふくサンデーコンサートについて」、説明をお願いします。

事務局 「(4) 第27回ふくふくサンデーコンサートについて」 資料に基づき説明

教育長 何かご質問とか、ありますか。
ではないようですので、次、「(5) その他について」、進めさせていただきますが、まず事務局からお願いします。

事務局 「イングリッシュキャンプについて」及び「中学生の異文化体験型研修について」 資料に基づき説明

教育長 何かご質問ありますか。よろしいですか。
では、私から1件情報提供です。

	<p>羽曳野市の小学校さんで、プールの状況がよくなくて、昨年度は、近隣の学校を使うような形で移動してされていましたが、今年度は、羽曳野市の小学校のうち5校が、業務委託みたいな形を試みています。そのうちの2つの小学校が、この6月ぐらいから実はかなんぴあの方へ来られています。</p> <p>かなんぴあも当然営業がありますので、休みの月曜日に限ってという形になります。この月曜日も様子を見に行かせていただきまして、先生たちや教育委員会の人も応援に来てたりとか、管理職の人も来てたりとかしながら、1日で1年生から6年生まで、大体学校規模は町と同じくらいでした。月曜日だけなので、全天候型で温水ですし、秋から冬の長期間にわたってされます。</p>
委員	河南町はそのまま、普通に学校で実施ですか。
教育長	<p>河南町はプールが大丈夫だし、今のところ業務委託というところまでの考えも今のところないです。</p> <p>それでは、次に、「情報提供案件について」進めさせていただきたいと思います。これにつきましては個人情報の関係がありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づきまして、これより非公開としたいと思います。</p> <p>お諮りします。</p> <p>「情報提供案件について」を非公開で行うことに賛成の方の挙手をお願いいたします。</p>
委員	―― 全員挙手 ――
教育長	<p>挙手全員と認めます。</p> <p>これによりまして、「情報提供案件について」は非公開とすることにしました。会場の閉鎖をお願いします。</p>
	―― 会場封鎖 ――
	会場の封鎖を確認しました。
	※※※※※※※※ 以下 非公開 ※※※※※※※※
	では、他にありますか。
委員	<p>皆さん方もご存じかもわかりませんけど、6月10日付の読売新聞の夕刊に、「ボイジャー1号と通信」という題で、記事が載ったのです。</p> <p>ボイジャー1号は、今から40数年前、1977年に、アメリカから打ち上げられた衛星なのですから、実は、太陽を木星とか土星とかを観測していき</p>

ながら、太陽系から出るのが目的なのです。

今現在、地球から約240億キロ離れたところで、通信が可能だったのす
けども、太陽系の半径が約180億キロなので、太陽系から出てしまったので
す。このボイジャー1号について、1980年ぐらいに「寂しい地球人」とい
う題で教科書に載って、実は僕もそれを子ども達に教えたのです。

その時に、ボイジャー1号は観測するだけじゃなしに、地球の情報を銅板に
刻んで、太陽系から来てますよと、こういう人間という生命体ですよ、とかい
う情報を積んで、飛び出しているのです。何が目的かいうと、「寂しい地球人」と
いうことは、生命体がいるのは、地球だけではないのではないかということで、
星の数は何億とあって、銀河系もアンドロメダなどかなりの数があり、まして
や太陽系というくくりで言えば、何万とある。そうすると、生命体のある星が
あってもおかしくないと。

だから、ボイジャー1号は、地球人の仲間を探しに行っている、という話を
子ども達といろいろしたのです。子ども達にその話をしたら、「いや、先生、絶
対に地球人のような人がおるはずや」ということで、大部分の子が賛成したの
です。

別に火星人とかそんな話じゃない、もっとはるか遠くの話なのですから。そ
の話をしてすごいなあ、ボイジャーが頑張っていろいろ情報を送ってくれたら
いいなあと思っていたのが、今から40年以上前なのです。教えた子どもがも
う50～60歳近くになっているのです。

その子ども達がこの夕刊を見て、「そうや、小学校のときにボイジャー1号で
勉強したなあ。まだ地球の情報を持って飛んでるんかなあ」という話を思い出
してくれたらいいなと、僕はこの記事を見て思ったのです。

教科書は4年間使いますので、日本全国で約何万人の子ども達がそれに触
れていると思うのですよ。だから、来月に教科書採択に僕も参加するのですけど
も、教科書の内容によっては、何か本当に未来があるようなことを子ども達に
伝えることができる。こういう教育って何か未来に繋がるということを子ども
達に伝えて、一生懸命、みんなはどう思うかということで話し合いしたのを思
い出しました。

来月、教科書採択がありますので、教材の中身について、そういう観点で、
皆さんに選んでいただいたら嬉しいと思いまして、情報提供しました。

教育長

夢のある話、ありがとうございます。想像することがものすごく大事と思つ
ていて、子ども達が今みたいな大きな話を頭の中で思い浮かべたときに、ワク
ワクする子が多分いると思います。今のボイジャーの話を、校長先生、教頭先
生、先生達も新聞で見て、これは子ども達に伝えるといいなとキャッチしてい
るかもしれません。

ありがとうございました。他にないようでしたら、以上をもちまして、本日
の日程はすべて議了いたしました。

これをもちまして6月の教育委員会定例会を閉会いたします。

次回、開催日は令和6年7月31日水曜日、午前9時半からと決めていただいております。

8月定例会は、令和6年8月28日水曜日、午前10時からの開会といたしますので、よろしくお願ひいたします。

はい。どうも本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名